

11月9日講話会 報告

皆様こんにちは。朝晩は、冷え込んで参りましたが、お元気でお過ごしでしょうか。



この度の講話会は、大分県で昆虫、とりわけチョウの採集と研究に永年携わってこられた大分昆虫同好会事務局長の玉嶋勝範様をお迎えして、「大分の昆虫～チョウを主体として～」と題してお話を伺いました。玉嶋先生は、中学2年生の時にコムラサキ(写真ウラ面)というチョウを採集し、この美しさに魅了され、以来今日までチョウの研究を一筋に続けてこられました。お話して頂く姿にはどこか“昆虫少年”を感じさせる親しみが感ぜられました。

当日は、大分県で採集されたチョウの標本(6箱)を会場にお持ちくださり、参加者に見せてくださいました。直接拝見した本物のチョウは、羽根の色つや・形・模様がみなとりどりで、実に美しく飽きないものがありました。玉嶋先生が中学生の時に感動した気持ちが伝わってくる様でした。

大分県のチョウは、全国で250種類(世界で2万種とも)あるのなかで130種が生息しているそうです。今回は、そのお話から印象に残ったことをいくつかご報告いたします。

1. 昆虫(チョウ)の生息は、自然の地形・地質とも関係が深い

ウラジロミドリシジミ(写真右)は、九州では大分県がダントツで多く生息しており、阿蘇火砕流の堆積物の分布と関係することが、最近地質学会からの報告で明らかになりました。食草のナラガシワが分布している地域と連動しており、国東半島などのナラガシワのない地域には、生息していないことがわかりました。昆虫の生息が、地質にも関係していたことは新発見でした。



2. 共存の昆虫の世界

《オオルリシジミ(シジミチョウ科)終齢幼虫とアリ》

生物の世界では、弱肉強食の厳しい生存競争があるなかで、オオルリシジミの終齢幼虫とアリは、上手く助け合って生息していることがわかりました。右の写真では、一見アリに食べられているように見えますが、これは幼虫から出る蜜をアリが吸っている姿なのです。また、これは寄生蜂等の外敵から幼虫を守っていることにもなっているのです。自然のメカニズムの見事さには驚きを禁じ得えません。



《オオルリシジミと牧草》

牧草のなかでクララという多年草の植物は毒性があるため、牛はこれだけは残し、食べません。しかしオオルリシジミは、このクララが好物で、牧場とは相性が良くこれで育ちます。

《人間の手を加えて自然を守ることも大切》

オオルリシジミの食草であるクララは、牧場によく育ちますが、雑草の中には生えません。牧場以外では、3月頃の野焼きの跡にクララが生えてきます。この野焼きがオオルリシジミの生息を

守っているのです。この野焼きがなければ、クララは生えません。従ってオオルリシジミの生息はできません。このように人間の手が加わることが必要となっている昆虫もあるのです。

3. アサギマダラのすごさと不思議さ



これは、海を渡るチョウとして有名です。姫島には毎年5月スナビキソウの群落に1000頭（昆虫の単位）前後集まります。不思議なことに殆どがオスで、メスは何処にいるのか分かっていません。「1000kmを超える海をどうして飛べるのですか」と参加者から質問が出されました。何と海面に落ちて浮かび休憩を取りながら移動するとのことで、驚きました。

4. 絶滅の危機にあるチョウも多い

絶滅の危機にあるものや絶滅が心配されるものも出て来ていることがわかりました。例えば、準絶滅危惧種であるヒメキマダラヒカゲですが、その食草であるスズタケが、ニホンジカによる食害を受け一帯が枯死した報告や原因不明の枯死の報告も出てきており、懸念しています。

5. 「県立自然史博物館」設立が必要

大分県には素晴らしい自然があり、多くの昆虫、植物、鳥、ほ乳類、化石、岩石などに恵まれています。それを採集して標本として残してくれた貴重な資料もあります。しかし、残念なことに、これを保管し、展示できる場所が大分県にありません。個人が保管しているこれらの宝物が、捨てられることのないように、早期に「県立自然史博物館」の設立が必要です。皆様も是非ご協力ください。

(メモ 青井勝久)



◇ ◇ ◇ ◇ 11月30日講話会等お知らせ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

①11月30日(土)

14:00-16:00

『ふるさとの先達をまちづくりに活かす』

～真名野長者、朝倉文夫、後藤静香他～

講師：大分を愛する豊後大野市民・郷土史研究家 赤嶺信武 氏

於：ホトホール大分 405会議室 参加費 500円/人

②12月25日(水)

14:00-16:00

「箏曲・名曲中の名曲『六段の調べ』♪は、クリンタン音楽♪だった!」

『六段の調べ』が、ここ豊後大分で生まれたという仮説を紹介!

南蛮文化の本当の意味とは?

講師：NPO 法人大友氏顕彰会

副理事長 佐藤弘俊 氏

於：ホトホール大分 302会議室 参加費 500円/人

《お問い合わせ先》一般社団法人すてきな大分を伝える会 青井勝久 TEL 080-3865-7104